

岩手県企業短期経済観測調査結果（2015年6月）

- 調査対象企業は、岩手県内に本社を置く資本金2千万円以上の67社 ※
- 回答率100%（回答数67社、うち製造業27社、非製造業40社）
- 回答期間 5月27日～6月30日

※ 調査対象企業の定例見直しに伴い、15年3月調査より対象企業が追加されている。このため、計表に記載している14年12月調査結果は、新ベースの集計結果を掲載している。ただし、DIにかかる長期時系列グラフ（4ページ参考2の各グラフ）は旧ベースの集計結果を掲載している。

1. 業況判断指数（DI）

業況判断指数（全産業）の「良い」超幅は、前回調査（3月）と同じ水準を維持した（前回15→今回15；2011年12月調査以来15期連続での「良い」超）。

業種別にみると、製造業では、素材業種で業況感が改善したものの、加工業種で製商品需給の悪化などを背景に判断を下方修正する先が散見されたため、全体では「良い」と「悪い」が拮抗する姿となった（前回15→今回0）。

また、非製造業では、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動減の影響が剥落していることもあって、個人消費関連を中心に幅広い業種で業況感を上方修正していることから、「良い」超幅が拡大した（前回15→今回25）。

先行きについては、製造業では、素材業種で改善を見込んでいるものの、加工業種で2015年度収益に対する慎重な見方もあって中立的な判断に戻す先が増加していることから、全体では今回の水準を維持する見通しとなった（今回0→先行き予測0）。

一方、非製造業では、2015年度売上高、経常利益の回復を見込む先が多いことから、「良い」超幅が拡大している（今回25→先行き予測28）。

この結果、全産業ベースの先行きDIは、足許並みの「良い」超幅となった。

（「良い」－「悪い」）回答社数構成比、%ポイント、（ ）内は前回予測

	14/3月	6月	9月	12月	15/3月	6月	9月 (予測)
製造業	8	20	16	22	15	0(3)	0
素材業種	15	15	29	0	▲11	0(11)	11
加工業種	5	22	11	33	27	0(0)	▲6
非製造業	30	21	20	28	15	25(22)	28
建設	50	36	50	50	43	36(36)	29
全産業	21	20	18	26	15	15(15)	16

2. 売上高・経常利益（2014年度実績、2015年度見通し）

2014年度売上高は、製造業が前年を下回ったものの、非製造業が前年を上回ったことから、全産業ベースでは、前年度を幾分上回った。

2014年度経常利益は、製造業および非製造業とも、前年を大幅に下回った。

2015年度売上高は、製造業、非製造業ともに、年度後半にかけて需要回復に伴う販売好転を見込む先が多くみられることから、全産業ベースで前年比プラス見通し。

2015年度経常利益は、製造業で、製造コストや販売価格に対する慎重な見方などから減益を見込む先が多い一方、非製造業で、建設投資や駆け込み需要の反動減からの回復に支えられて、下期を中心に収益拡大を見込む先が多くみられる。

— 前年同期比・%、()内は前回調査比修正率・%

	2014年度(実績)		2015年度(見通し)					
	売上高	経常利益	売上高			経常利益		
			年度	上期	下期	年度	上期	下期
製造業	▲ 1.4 (0.3)	▲18.7 (▲0.5)	4.8 (▲ 0.3)	0.6 (▲ 1.6)	9.2 (0.9)	▲18.6 (▲ 4.8)	▲43.7 (▲13.5)	24.7 (3.2)
非製造業	1.2 (1.0)	▲11.4 (4.9)	0.1 (0.4)	▲ 2.4 (1.1)	2.5 (▲ 0.1)	9.4 (▲ 2.6)	▲44.0 (▲23.2)	68.2 (7.9)
全産業	0.3 (0.7)	▲14.6 (2.6)	1.7 (0.2)	▲ 1.3 (0.1)	4.7 (0.2)	▲ 2.3 (▲ 3.4)	▲43.9 (▲19.0)	52.7 (6.5)

3. 設備投資額（2014年度実績、2015年度計画）

2014年度設備投資は、新製品対応投資、省力化投資などを中心に前年を上回った。

2015年度設備投資は、製造業で、新製品対応投資などに積極姿勢を示す向きがみられることから、全産業ベースで前年を上回る当初計画となっている。

— この間、非製造業では、足許、新規投資に対して慎重な先が多い。

— 前回調査対比では、製造業が生産用機械、非製造業が卸・小売を中心にそれぞれ上方修正となった。

(ソフトウェア投資を除くベース)

— 同上

	2013年度(実績)	2014年度(実績)	2015年度(計画)		
			年度	上期	下期
製造業	▲31.5	▲ 1.0 (▲ 5.1)	31.1 (6.2)	30.7 (4.1)	31.5 (8.5)
非製造業	▲ 6.9	4.7 (▲ 2.0)	0.0 (8.1)	3.7 (13.1)	▲ 2.6 (4.6)
全産業	▲23.3	1.5 (▲ 3.7)	16.9 (6.9)	20.0 (7.1)	14.1 (6.8)

(参考1) 各種判断 DI の推移

—— 回答社数の構成比・%ポイント、() 内は前回予測

(1) 需給・在庫・価格判断 DI (全産業ベース)

		14/3月	6月	9月	12月	15/3月	6月	9月 (予測)
製商品・ サービス需給	「需要超過」—「供給超過」	▲ 6	0	▲ 3	▲ 3	▲10	▲17(▲12)	▲16
製商品在庫	「過大」—「不足」	4	6	▲ 2	▲ 2	8	8(—)	—
仕入価格	「上昇」—「下落」	42	37	27	31	35	25(33)	26
販売価格		8	12	▲ 6	▲ 6	▲ 1	▲ 3(6)	▲ 3

(2) 生産・営業用設備判断 DI(「過剰」—「不足」)

	14/3月	6月	9月	12月	15/3月	6月	9月 (予測)
製 造 業	▲ 4	4	▲ 4	▲18	▲ 7	▲ 8(8)	0
非 製 造 業	▲ 7	▲ 5	5	▲ 5	▲ 3	▲ 2(▲ 5)	▲ 8
全 産 業	▲ 6	▲ 1	1	▲11	▲ 4	▲ 5(0)	▲ 4

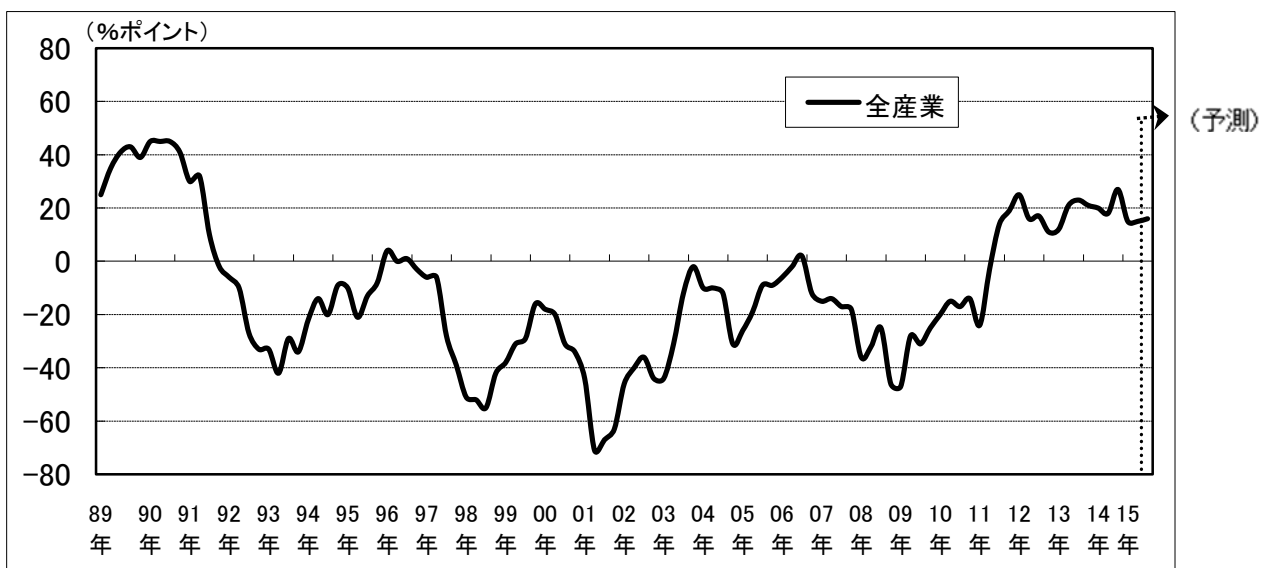
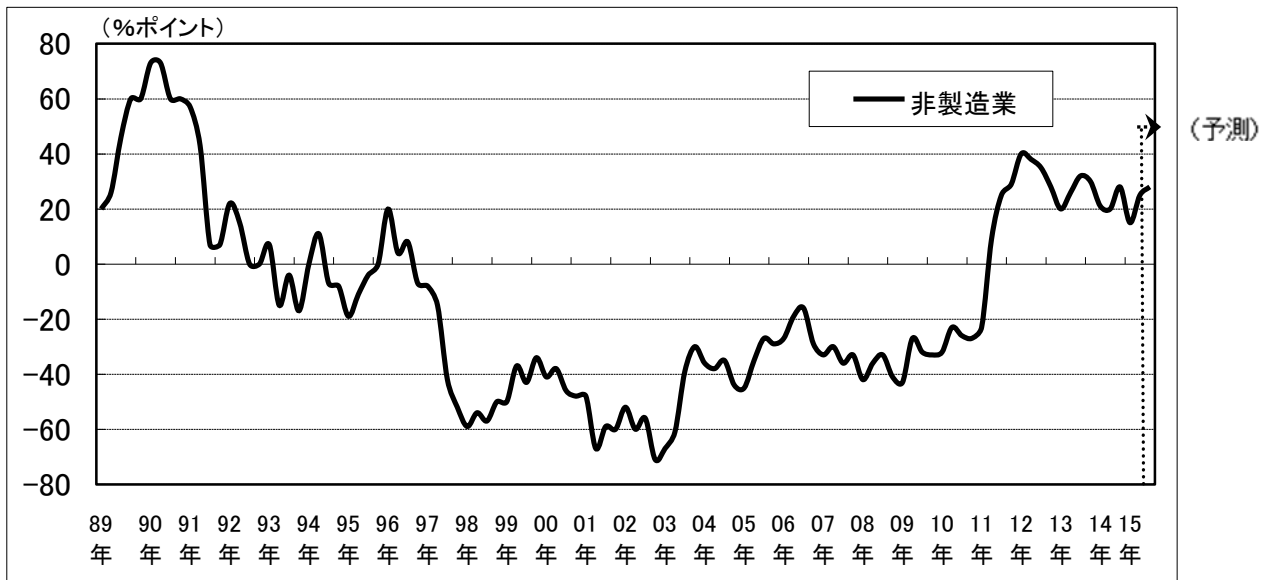
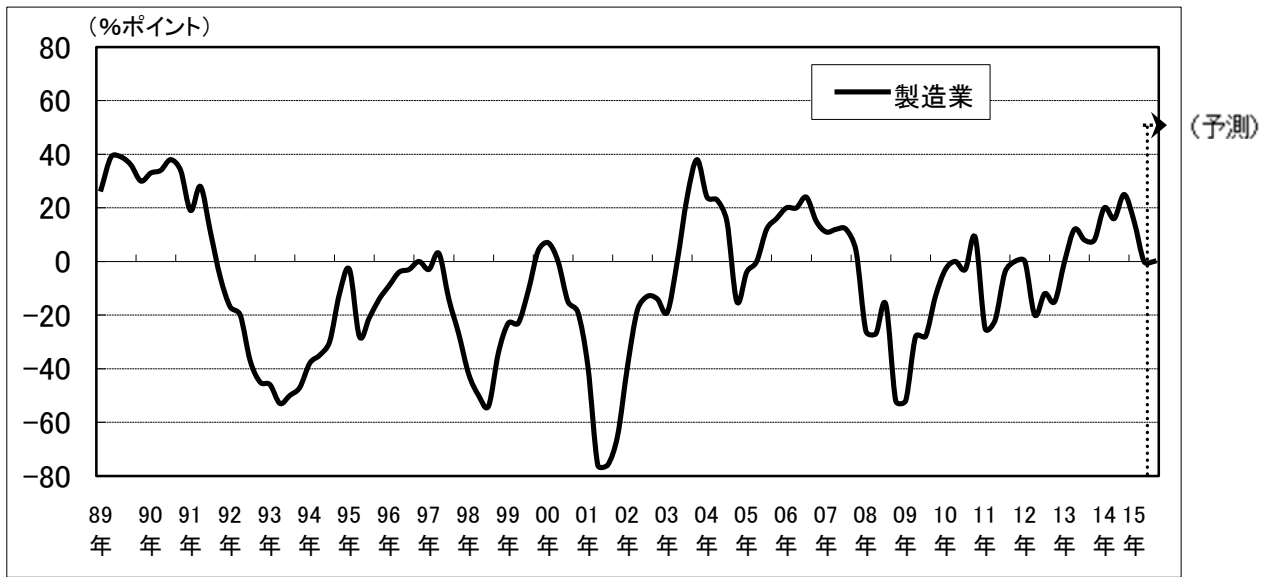
(3) 雇用人員判断 DI (「過剰」—「不足」)

	14/3月	6月	9月	12月	15/3月	6月	9月 (予測)
製 造 業	▲20	▲16	▲24	▲37	▲19	▲19(▲ 7)	▲15
非 製 造 業	▲27	▲20	▲15	▲30	▲32	▲27(▲27)	▲20
全 産 業	▲24	▲19	▲18	▲33	▲27	▲24(▲20)	▲18

(4) 企業金融関連判断 DI (全産業ベース)

		14/3月	6月	9月	12月	15/3月	6月	9月 (予測)
資金繰り	「楽である」—「苦しい」	11	14	3	6	10	12(—)	—
金融機関 貸出態度	「緩い」—「厳しい」	13	7	10	18	21	18(—)	—
借入金利 水準	「上昇」—「低下」	▲ 1	▲ 5	▲13	▲14	▲12	▲ 6(▲ 7)	2

(参考2) 岩手県の業況判断DIの推移



(参考3) 東北地区(6県)及び全国の業況判断DIの推移

()内は前回予測

		14/3月	6月	9月	12月	15/3月	6月	9月 (予測)
製造業	全国	10	6	4	7	5	4 (3)	5
	東北	4	8	6	7	1	▲ 2 (4)	3
	岩手	8	20	16	22	15	0 (3)	0
非製造業	全国	14	8	5	6	9	10 (6)	8
	東北	18	10	10	10	11	14 (6)	10
	岩手	30	21	20	28	15	25 (22)	28
全産業	全国	12	7	4	6	7	7 (5)	7
	東北	13	9	8	8	7	8 (5)	7
	岩手	21	20	18	26	15	15 (15)	16

(参考4) 東北各県の業況判断DIの推移

()内は前回予測

		14/3月	6月	9月	12月	15/3月	6月	9月 (予測)
全産業	岩手	21	20	18	26	15	15 (15)	16
	青森	6	11	5	1	0	1 (▲ 4)	0
	宮城	9	4	3	11	5	▲ 1 (5)	2
	秋田	8	▲ 1	▲ 4	▲ 6	▲ 7	0 (▲ 4)	2
	山形	23	11	7	5	5	7 (0)	6
	福島	11	10	12	14	16	16 (14)	13

以上

本件に関する問い合わせ先

日本銀行盛岡事務所

TEL : 019-624-3622 (代)

<http://www3.boj.or.jp/morioka/>